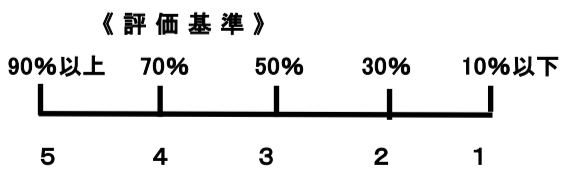
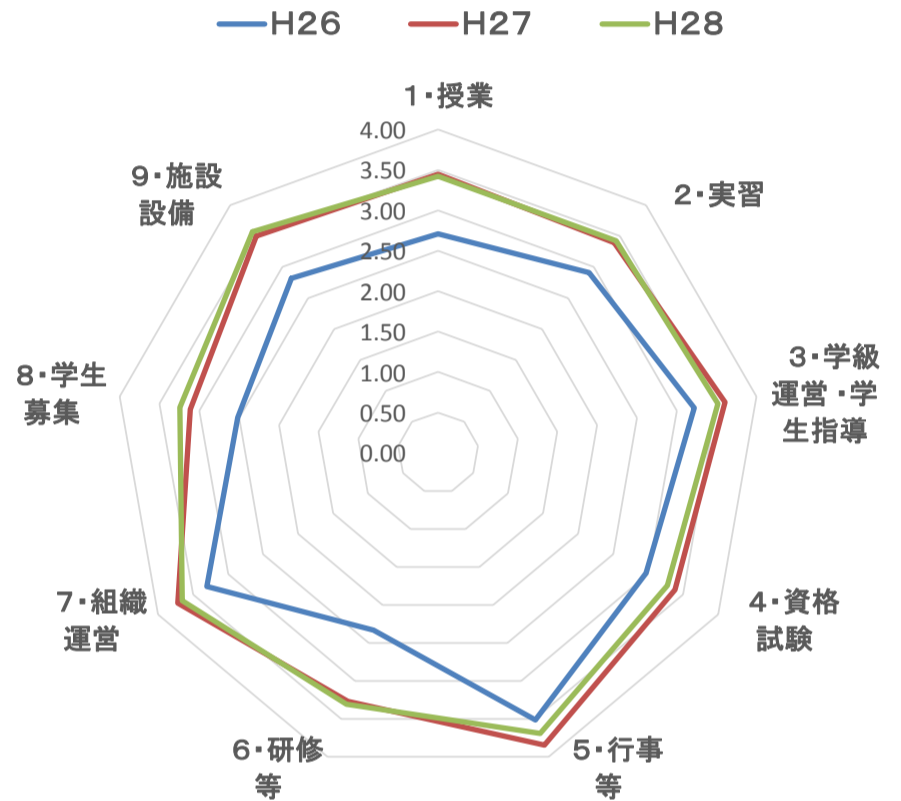


教員自己評価項目と教員の平均点(専任教員12名)		26年度 平均点	27年度 平均点	28年度 平均点
I、教育課程・教授活動	1、学生のレディネスを把握し学習観、教材観、指導観を明確にして授業計画を立案した	2.64	3.42	3.29
	2、授業形態(講義・演習・実技)は内容に応じて選択した	3.18	3.62	3.54
	3、学生の理解度を促進する教材、教具の工夫をした	2.55	3.38	3.46
	4、授業に対する学生の反応や理解度をなんらかの方法で評価した	2.64	3.58	3.57
	5、効果的な授業や指導を行うために教員間の協力体制を取り入れた	2.55	3.23	3.25
	小計	2.71	3.45	3.42
	1、各学年のオリエンテーション計画は学生の理解を促す十分な内容であった	2.73	3.23	3.19
	2、各学年の実習分野の計画は、学生配置、時間数、時期は適切であった	2.64	3.54	3.42
	3、担当した実習指導は学生のレディネスに合わせて適切な指導内容であった	2.80	3.38	3.33
	4、担当した実習の学生への評価は適切な内容であった	3.40	3.42	3.50
	5、実習施設の臨床指導者との連携、調整は円滑に行われた	3.00	3.38	3.69
	小計	2.91	3.39	3.43
	1、学生の個々の状況把握とクラス全体をみて十分な指導ができた	2.70	3.23	3.31
	2、学生に問題が生じた場合、上司への連絡・報告・相談は適切に行い対応した	3.91	3.88	3.62
	3、担任及び副担任としての役割は十分に果たせた	2.60	3.19	3.19
4、学生の自己の健康管理や健康な生活について十分な指導ができた	3.45	3.88	3.69	
5、学生の安全を考慮した学習環境づくりと感染症予防や災害事故防止対策を計画的に指導できた	3.00	3.00	3.77	
小計	3.22	3.44	3.52	
1、資格試験対策の計画は内容、方法、時期共に適切で効果的であった	2.82	3.27	3.17	
2、試験対策への教員間の協力体制は十分にとれていた	3.00	3.58	3.42	
3、資格試験対策計画にもとづいた実際の学習指導は合格率向上に繋がった	3.09	3.31	3.25	
小計	2.97	3.38	3.28	
1、行事(入学・卒業・戴帽式等)への準備取組は計画的に行われた	3.45	3.85	3.69	
2、行事への取り組みは教員間の連携や協力体制のもとに円滑に行われた	3.64	4.00	3.69	
3、特別講演などの取り組みは計画的に行われ、内容は充実していた	3.45	3.69	3.69	
小計	3.52	3.85	3.69	
教育課程教授活動の平均		3.01	3.51	3.47
II、研究・研鑽	1、教育の質向上の為にテーマに沿って研究に計画的、継続的に取り組んだ	2.27	3.04	3.14
	2、専門分野の文献学習や研修会、学会に参加して専門性の向上に努めた	2.27	3.65	3.50
	3、研修会や学会に参加した内容を報告し、職員仲間に伝達して情報の共有化に努めた	2.45	3.12	3.29
II、研究・研鑽の平均		2.33	3.27	3.31
III、組織運営・広報	1、組織の理念・目標を理解し、組織の一員としての役割を自覚して行動した	3.18	3.62	3.57
	2、組織全体の状況を考えて仕事の優先度を意識して行動した	3.27	3.65	3.36
	3、部下や後輩への指導は各自の経験や能力に応じた支援を行った	2.55	3.38	3.23
	4、職員仲間とはお互いを尊重し合いながら協調性をもって行動した	3.55	3.85	4.04
	5、問題が発生した場合の報告や連絡・連携体制は適切に行われた	3.73	4.00	4.00
	6、自己の健康管理に留意して職場での係や役割は円滑に遂行できた	3.55	3.81	3.75
	小計	3.30	3.72	3.66
	1、学生募集の広報活動は計画的に行い、積極的な取り組み方であった	2.73	3.31	3.46
	2、学生募集広報内容や方法は十分に吟味され、創意工夫された	2.73	3.23	3.31
	3、学生募集活動は、具体的な成果に繋がった	2.09	2.81	2.96
	小計	2.52	3.12	3.24
	1、施設は、学生や教職員が安全・円滑に業務遂行できるよう整備している	2.91	3.35	3.50
	2、学校内の備品や物品の点検整備、補充などは適切に行った	2.73	3.65	3.64
	小計	2.82	3.50	3.57
	III、組織運営・広報の平均		3.00	3.51
総合平均点		2.95	3.49	3.46



各評価内容別平均値での前年比較		H26	H27	H28
I、教育課程教授活動	1・授業	2.71	3.45	3.42
	2・実習	2.91	3.39	3.43
	3・学級 運営・学生指導	3.22	3.61	3.52
	4・資格 試験	2.97	3.38	3.28
	5・行事等	3.52	3.85	3.69
II、研究・研鑽	6・研修等	2.33	3.27	3.31
III、組織運営・広報	7・組織 運営	3.30	3.72	3.66
	8・学生 募集	2.52	3.12	3.24
	9・施設 設備	2.82	3.50	3.57
総平均		2.92	3.48	3.46

H26年度～H28年度 教員自己評価平均値



《総評》

教員自己評価の総合平均点は平成27年度3.49点、平成28年度3.48点とほぼ同じ評価であった。

I,教育課程・教授活動の「授業」に関して、高等課程・専門課程共に新任教員が配属され、教授する担当科目の変更があったことなどから「教材準備や授業計画立案」「他教員との教科連携」評価が3.29点・3.25点と低い評価になった。、「実習指導」は実習施設の指導者と共に前期・後期に研修会を開催したので、指導者との連携・調整は良くできた3.69点の評価であった。しかし、「学生全員が実習単位を修得できる」を目標に事前学習・オリエンテーション・評価基準などを検討・変更したが、目標を達成できなかったため、3.19点と低い評価になった。

「学級運営・資格試験対策」については、計画・実施等を担任教員の裁量まかせになり他教員の関与が少なかったとの反省から、3.17点の低い評価であった。

II,研究・研鑽は、今年度通信制教員養成課程の大学を卒業した2名の教員が、自らの学びを伝達したり、課程変更準備会議をとおして「どのような看護師を育成したいか、そのための教育内容は等」教育に関する学習の機会が多かったことで、大きな変化ではないが、評価は上がっている。

III,組織運営・広報については、「職員間の協調した行動の評価」が4.04点と高くなっている。これは、在学中の学生教育・指導をする通常の業務に加えて課程変更準備の作業が加わり、全教員が協力して検討をすすめ、両課程を超えて話し合いができたことの評価である。

「学生募集」に関しては、ホームページの刷新やポスター作製・学校訪問など積極的に広報した。今年度は高等課程准看護科が閉課程となる最後の募集であったが、応募者は近年と大差なく少なかった。新課程開設の広報成果は、まだ確認できていない。